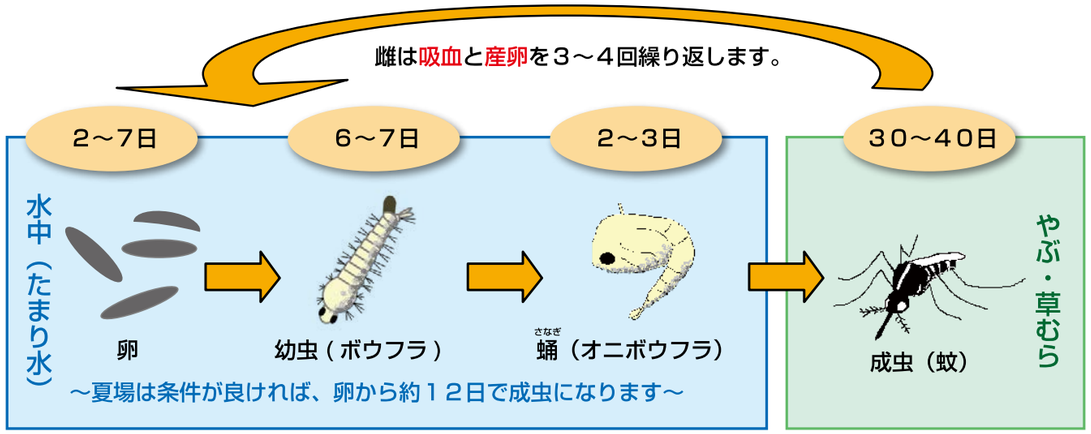
感染症を媒介する蚊

デング熱のほかにジカウイルス感染症やチクングニア熱、ウエストナイル熱を媒介します。

ヒトスジシマカは、デング熱、ジカウイルス感染症、チクングニアウイルス感染症等を媒介する蚊です。昼間吸血性であるヤブカ類の代表的な種で、やぶや草むらに生息しています。

このほかにも、感染症を媒介する主な蚊として、アカイエカ（ウエストナイル熱）、チカイエカ（ウエストナイル熱）、コガタアカイエカ（ウエストナイル熱、日本脳炎）、ハマダラカ（マラリア）などがいます。

ヒトスジシマカの一生



関連情報（東京都ホームページ）

●感染症媒介蚊対策について（東京都保健医療局）
東京都における感染症媒介蚊対策、パンフレット等について
https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/kankyo/eisei/baikaikataisaku/index.html

●東京都の感染症媒介蚊対策（東京都健康安全研究センター）
感染症媒介蚊サーベイランスの結果等について
https://www.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/kj_kankyo/mosq/

●蚊媒介感染症（東京都感染症情報センター）
蚊が媒介する感染症の種類や症状、ハイリスク地点について
https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/diseases/mosquito/

東京　蚊　検索

相談窓口

蚊についてのご相談・お問合せは、**お住まいの特別区（区役所・保健所）及び市町村（市役所・町村役場）のねずみ昆虫等の防除事務を所管する部署**までご連絡ください。なお、市町村（八王子市及び町田市を除く。）にお住まいの方は、管轄する**各保健所生活環境安全課環境衛生担当**でも受け付けています。

編集･発行　東京都保健医療局健康安全部環境保健衛生課指導担当　03-5320-4391　登録番号（7）27

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

蚊をなくして安全・安心！
―感染症を媒介する蚊の発生防止対策―

平成２６年に、我が国では約７０年ぶりとなるデング熱の国内発生が確認され、平成２８年２月には、ジカウイルス感染症が四類感染症に追加されました。デング熱もジカウイルス感染症もウイルスを保有する蚊に刺されることで発症する感染症です。これらの蚊が媒介する感染症のまん延を防ぐには、都民一人一人が、日頃から蚊の発生防止に努めることが重要です。

デング熱・ジカウイルス感染症について

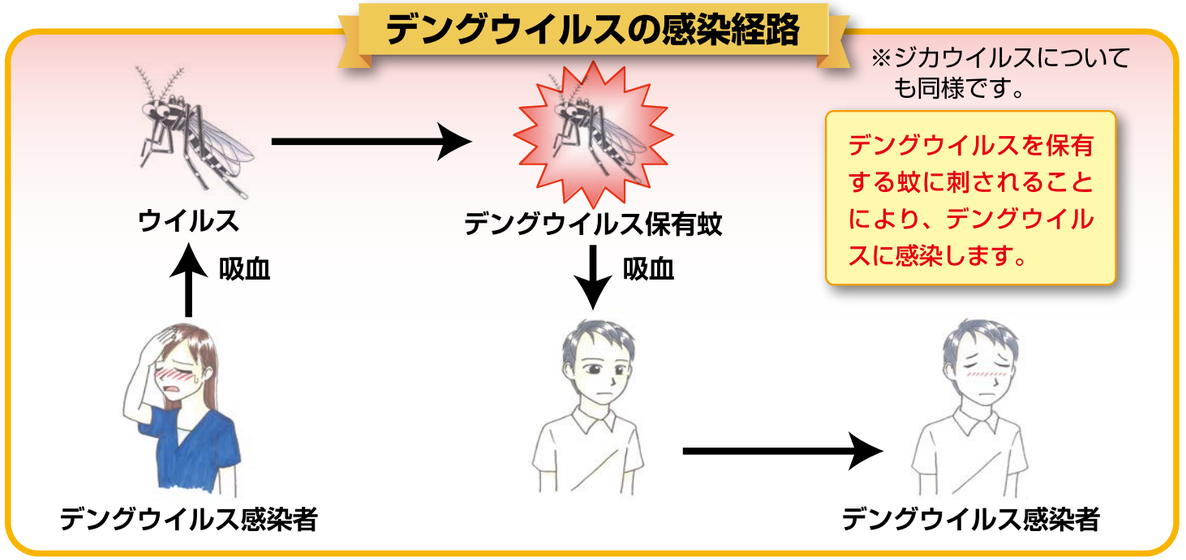
デング熱やジカウイルス感染症は、デングウイルスやジカウイルスに感染した蚊に刺されて起こる感染症で、主な媒介蚊はヒトスジシマカです。ウイルスは、人と蚊の間で感染を繰り返し、感染者が拡大します。現在、特別な治療法はなく、症状に応じた対症療法が行われます。

■デング熱の症状

蚊に刺されてから２～１４日（多くは３～７日）の潜伏期間の後、高熱（３８～４０℃）・頭痛・関節痛・筋肉痛・発しんなどの症状が現れます。多くの人は１週間ほどで症状が回復します。

■ジカウイルス感染症の症状

蚊に刺されてから２～１２日（多くは２～７日）の潜伏期間の後、発熱（多くは３８．５℃以下）・頭痛・関節痛・発しん・結膜炎などの症状が現れます。デング熱よりも軽症で、多くの人は２～７日ほどで症状が回復します。



蚊が媒介する感染症の予防

デング熱やジカウイルス感染症に有効な予防接種はありません。感染しないためには蚊に刺されないことが重要です。ヒトスジシマカ等を減らす対策を行い、蚊に刺されないように注意しましょう。

こんなところが潜み場所

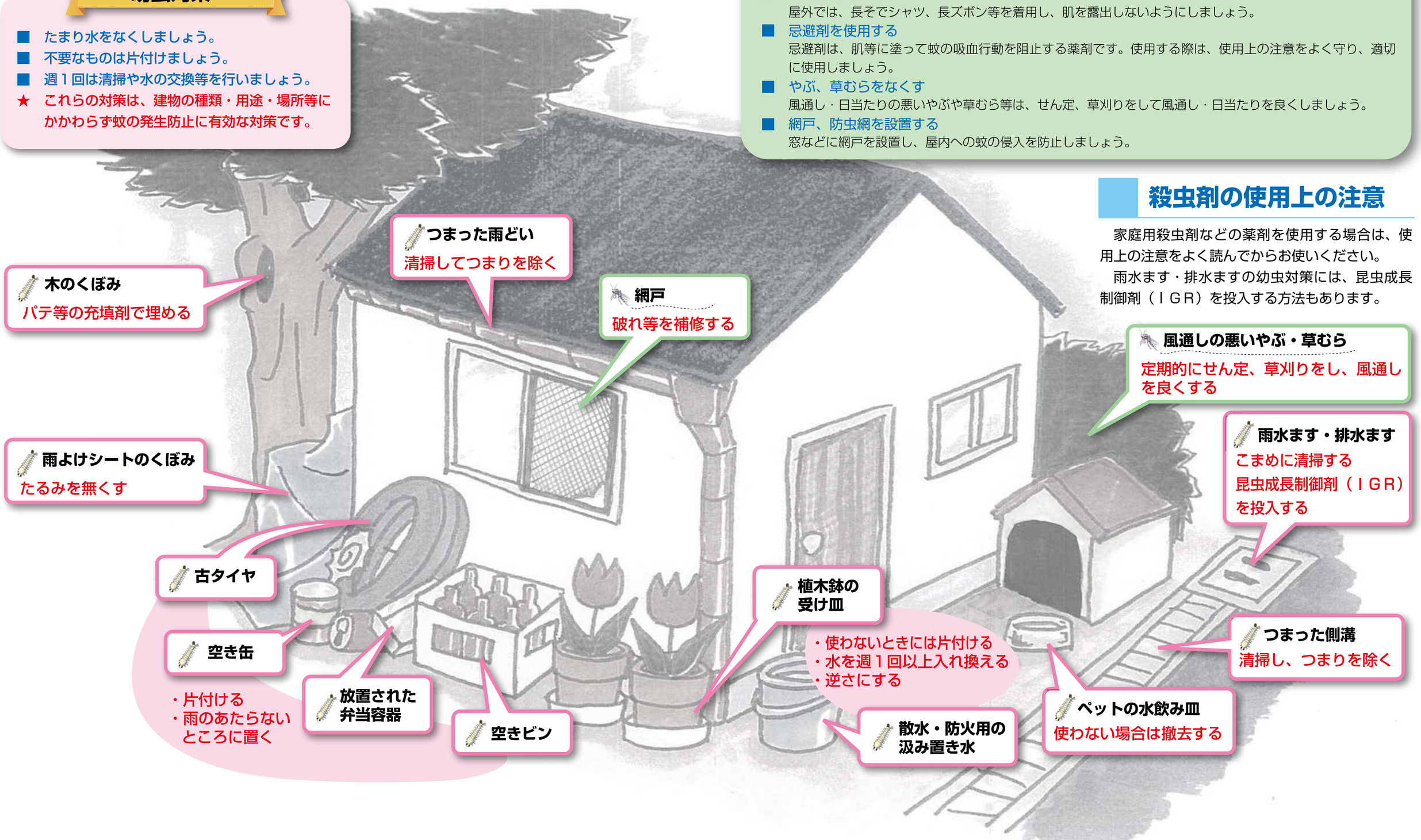
幼虫対策「蚊を減らすためのポイント！」

蚊を減らすためには、水中に生息する幼虫（ボウフラ）を退治することが最も有効です（幼虫対策）。

ヒトスジシマカは活動範囲が狭く、小さなたまり水からも発生します。よく刺される場所は、周辺に蚊の発生源になるたまり水や成虫の生息場所に適したやぶ等が見つかります。下の絵を参考にして、発生源対策を行い、蚊の発生を防止しましょう。

幼虫対策

- ■ たまり水をなくしましょう。
- ■ 不要なものは片付けましょう。
- ■ 週１回は清掃や水の交換等を行いましょう。
- ★ これらの対策は、建物の種類・用途・場所等にかかわらず蚊の発生防止に有効な対策です。



成虫対策「蚊に刺されないためのポイント！」

ヒトスジシマカはやぶや草むらに生息し、日中によく吸血する傾向があります。そのため、屋外で活動する際には、蚊に刺されないための対策が必要です。また、成虫の生息場所に適したやぶや草むらの草刈り等も有効です（成虫対策）。

成虫対策

- ■ 肌の露出を控える
  屋外では、長そでシャツ、長ズボン等を着用し、肌を露出しないようにしましょう。
- ■ 忌避剤を使用する
  忌避剤は、肌等に塗って蚊の吸血行動を阻止する薬剤です。使用する際は、使用上の注意をよく守り、適切に使用しましょう。
- ■ やぶ、草むらをなくす
  風通し・日当たりの悪いやぶや草むら等は、せん定、草刈りをして風通し・日当たりを良くしましょう。
- ■ 網戸、防虫網を設置する
  窓などに網戸を設置し、屋内への蚊の侵入を防止しましょう。

殺虫剤の使用上の注意

家庭用殺虫剤などの薬剤を使用する場合は、使用上の注意をよく読んでからお使いください。

雨水ます・排水ますの幼虫対策には、昆虫成長制御剤（ＩＧＲ）を投入する方法もあります。